取扱説明書

BIODEX 社製

アンウェイシステム用ハーネス

セーフティハーネス

BDXU－SH2

✱このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

✱正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

✱「取扱説明書」は

・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。

・１部を保存用として、大切に保管してください。

SAKAImed

03-186①M9

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項を読んで必ずお守りください。
表示の意味は次のようになっています。

⚠危険 … 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 … 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 … 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

⚠警告　ハーネスは、使用の前にほつれや破れなどがないか確認してください。
ほつれや破れなどがある物は使用しないでください。

もくじ

セーフティハーネスについて……4

各部の名称……5

立たせた状態での取り付け手順……7

サドル型パッドを使用する場合……11

寝かせた状態での取り付け ……12

その他 ……13

お手入れの仕方 ……14

機器の保守・点検について ……14

交換部品について……14

セーフティハーネスについて

本製品は大人から子供まで使用できるように腰回りのサイズ 64～154 ㎝の間で調節可能です。ハーネス使用中の「ずれ」を低減するために、ベスト部の下に滑り止めのインナーラップを巻いています。インナーラップも腰回り 64～154 ㎝の間で調節可能です

本製品は〇リングを介してアンウェイシステムに吊下げて使用することができ、ハーネス自身は 204 kgまでの被験者に使用することができます。また、セーフティハーネスはベスト部と大腿ホールドストラップで被験者を支えるため、より長い時間免荷することができます。

セーフティハーネスの利用できる範囲

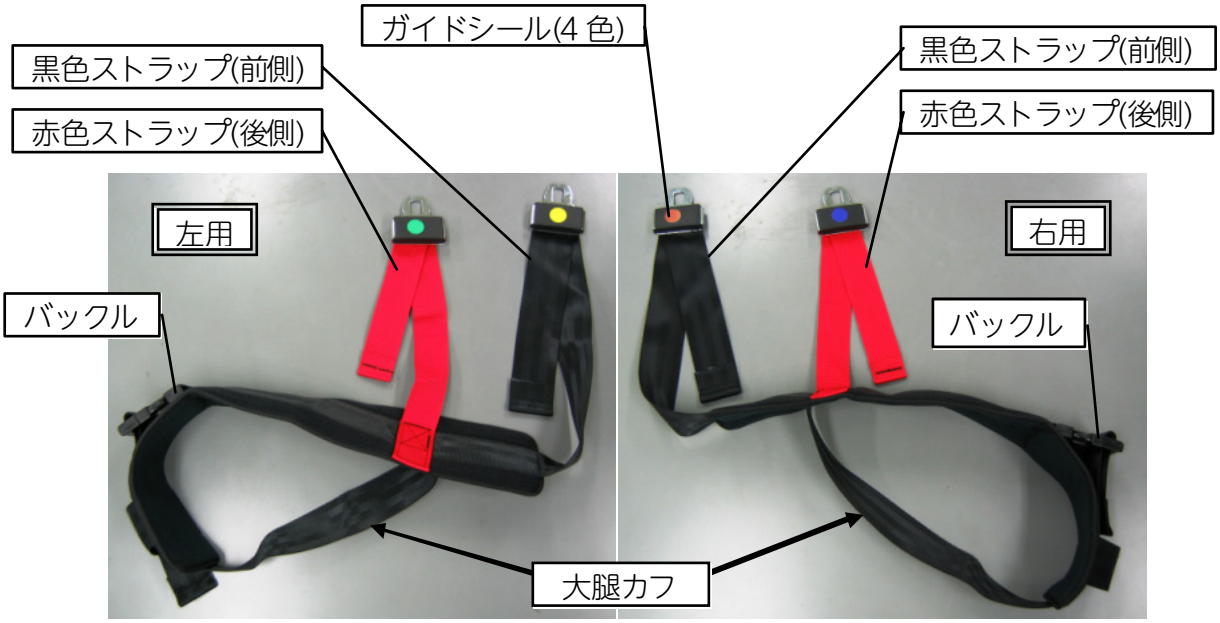
- 腰回りのサイズ　64～154 ㎝
- 体重　204 kgまで

各部の名称

ハーネスベスト部（前側）

（後側）

大腿ホールドストラップ



サドル型パッド

インナーラップ

構成

ハーネスベスト部 ……1

大腿ホールドストラップ……左右各 1

サドル型パッド ……1

インナーラップ ……1

立たせた状態での取り付け手順

1	 	インナーラップの取り付け インナーラップの下端が、大転子と ASIS(上前腸骨棘)の間になるように巻きます。 インナーラップ自体が使用中にすべらないように適度な張りを持たせて巻きつけてください。
2		インナーラップの端をベルクロで固定します。
3		ハーネスのベスト部を取り付けます。 ショルダーストラップの「Oリング」が被験者の耳の横になるようにアンウェイシステムのTバーを上下させて調節します。
4		ショルダーストラップの長さを調節します。 ベスト部の下端をインナーラップの下端に合わせます。

5		ベスト部のバックルをはめ、大腿ホールドストラップ用のバックル(前側)が大転子の近くにくるように(手順 7 参照)、ベスト部後側のストラップを調節してください。
6		ベスト部のバックルのストラップを引いてベスト部を固定します。 締めつけ過ぎて動作の妨げにならないように注意してください。
7		大腿ホールドストラップ用のバックル(前側)が写真のように大転子の近くにあること、ベスト部の下端がインナーラップ下端と合っていることを確認します。 位置がずれている場合は、再度ベスト部を調節してください。
8		ガイドシールの色を合わせて、大腿ホールドストラップ後側(赤色ストラップ)のバックルをはめます。 大腿ホールドストラップは、前側が黒色ストラップ、後側が赤色ストラップになります。また大腿カフのバックルが外側になります。

9		黒色ストラップを内腿に通して前側に持っていき、ガイドシールの色を合わせてバックルをはめます。
10		大腿カフを固定します。締めつけ過ぎて動作の妨げにならないように注意してください。
11		臀部の下側を保持するように、赤色ストラップを締め付けます。
12		前側のバックルが前方に傾き、各ストラップがよれたりせず正しく取り付いているか確認します。

13		同様に反対側の大腿ホールドストラップを取り付けます。 ガイドシールの色を合わせて、後側のバックルをはめます。
14		黒色ストラップを内腿に通し前側に持っていき、ガイドシールの色を合わせてバックルをはめます。
15		大腿カフを固定し、赤色ストラップを締め付けます。
16		取付け完了です。 (ハーネス取付け状態：前側)

サドル型パッドを使用する場合

1		後側の左右の大腿ホールドストラップ用バックルにサドル型パッドのバックルをはめます。 サドル型パッドに前後はありません。
2		サドル型パッドの取付け状態。 (後側に取付けた状態)
3		内腿を通し、前側の左右の大腿ホールドストラップ用バックルにサドル型パッドのバックルをはめます。ストラップがねじれないように注意してください。
4		サドル型パッドの取付け状態。(前側)

寝かせた状態での取り付け

1		仰向けの状態でハーネスを取り付けるために、最初に被験者を仰向けにすることができるベッドやテーブルにベスト部を広げて置きます。
2		写真のように被験者にインナーラップを巻いた後、被験者を座らせます。このとき、被験者に巻いたインナーラップの下端とベスト部の下端を合わせます。
3		被験者を寝かせ、ハーネスを取り付けてください。ハーネスの取り付け方は「立たせた状態での取り付け手順」を参照してください。

その他

1		サイドグリップ 被験者を左右に誘導する場合や体幹を安定させる場合に使用します。
2		Dリング 腰固定バンド（アンウェイシステム付属品）を引っ掛け、被験者の過度の体幹の回転を防ぎます。

お手入れの仕方

ベスト部分が汚れた場合は中性洗剤を含ませた布をしぼってから拭きとり、自然乾燥させてください。

インナーラップは、中性洗剤をうすめたぬるま湯にて手で押し洗いし、タオルドライしてから日陰干ししてください。

⚠注意　洗濯機・乾燥機は使用しないでください。

機器の保守・点検について

- 本製品をご使用する際は、管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず始業点検を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、正常に機能するか十分な点検を行ってください。
- 点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	本体	目視 ほつれ、切れ目などが無いこと、ベルクロの消耗が無いこと、バックル類が壊れていないことを確認

交換部品について

損耗品

（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）
使用状況により、不定期に交換が必要となるもの。

インナーラップ

損耗品の購入は弊社営業所までご用命ください。